

図書だより

平成30年7月12日
秋田県立視覚支援学校
図書委員会発行
No.3

夏休み、思い出の一冊との出会いを！



今年で64回目となる「青少年読書感想文全国コンクール」。今年も課題図書部門では、小学校（低・中・高）・中学校・高等学校の課題図書、計18冊が紹介されました。毎年、それらの本の点字印刷したものや点訳データを、全国の学校に無料で送ってくださるのが、**徳島県のボランティア団体「点訳 燦(さん)の会」の皆さん**です。今年も小学校（低・中・高）11タイトル分の点字印刷と、課題図書すべての点訳データをいただきました。本校の図書ボランティアさんのご協力を得て、いただいた点字印刷は製本しましたので、ご活用ください。

活字版の課題図書については、18冊中、11冊を購入していただくことができました。（※後の一覧参照）ぜひ、手に取ってごらんください。「何を読めばいいかわからない」そんな方には、取りあえず図書室をのぞいてみることをおすすめします。

夏休み、思い出の一冊とのすてきな出会いがありますように！



★購入した課題図書の中から3冊、紹介します★

●小学校低学年の部より●



『きみ、なにがすき？』

はせがわ さとみ 作 （あかね書房）

ともだちのために、なにかしてあげたいと思ったことはありませんか？ このお話のあなぐまも、庭でともだちの好きなものをつくって喜ばせたいと考えます。けれども思いついたものはみんな十分持っているものばかりで……。心あたたまるやさしいお話です。

●小学校中学年の部より●



『森のおくから:むかしカナダであったほんとうのはなし』

レベッカ・ポンド 作 （ゴブリン書房）

いまから100年ほど前に、カナダでほんとうにあった話です。ある暑い夏におきた、おそろしい山火事。人間も、動物も、必死に生きのびようとしたその時、思いもよらないことが起こったのです。

●小学校高学年の部より●



『クニマスは生きていた！』

池田 まき子 著 (汐文社)

田沢湖には、かつてクニマスという魚がいましたが、^{ちすい}治水事業の影響で絶滅してしまいます。最後のクニマス漁師・^{りょうし}久兵衛さんは絶望に打ちひしがれますが、あるとき卵が全国各地の湖に^{いしょく}移植されていたことを知り・・・。

【以下の課題図書8冊も入りました！】どうぞ、ご利用ください！

小学校（低）「なすずこのっぺ？」カーソン・エリス、フレーベル館

小学校（中）「最後のオオカミ」マイケル・モーパーゴ、文研出版

「すごいね！みんなの通学路」ローズマリ・マコーニ、西村書店

小学校（高）「奮闘するたすく」まはら ^{みと}三桃、講談社

「こんぴら狗」今井 恭子、くもん出版

「ぼくとベルさん：友だちは発明王」フィリップ・ロイ、PHP研究所

中学校 「千年の田んぼ：国境の島に、古代の謎をおいかけて」石井里津子

高等学校 「いのちは贈りもの：ホロコーストを生きのびて」ラッセ・ヌ・クリストフ

図書委員による今月のおすすめの本

専攻科保健医療科2年 W. M. さんからの
おすすめの本です！



「しゃばけ」

^{はたけなか} 畠中 ^{めぐみ} 恵 (著) 新潮社



畠中恵さんの短編シリーズものです。

舞台は江戸。身体がめっぽう弱い廻船問屋のおぼっちゃん

の若旦那と、若旦那がとても大好きな妖（あやかし）達が協力して

^{なぞ}謎を解決する時代ものファンタジー。単行本は、シリーズ累計800万部を超える。

ラジオドラマ化され、2002年、2004年には、NHK-FMで放送されました。

笑えて、ほっこりする本です。

※【しゃばけ】とは、「娑婆気」。「世間の名誉や欲にとらわれる心」のようです。